

桜島大根「桜島おごじょ」の空洞症を軽減できる施肥方法

初期窒素施用量を少なくすることで空洞症を軽減し、適期収穫によりすり入りを回避

研究開発の背景

- ・桜島大根は、温暖化の影響や経験豊富な農家の減少などにより、空洞症・す入りの発生が問題になっている。そのため、当センターでは、在来種に比べて空洞症・す入りの発生が少ないF1品種を育成した。
 - ・本品種に適した栽植密度（株間）および施肥方法が不明であった。

研究成果の内容

- 1 「鹿児島5号」は、基肥窒素を施用せずに追肥主体で行うことで空洞症の発生をほぼ抑えることが可能

※初期(播種から2週間程度)の1株あたりの窒素施用量を少なくすることが空洞症の発生と高い相関がある

- ①追肥重点の施肥方法(窒素成分施用量)

 - 播種2週間後:追肥1回目(3.5kg/10a)
 - 3週間後:追肥2回目(3.5kg/10a)
 - 約1か月後:追肥3回目(8.0kg/10a)
 - 2か月後以降:追肥4回目(4.4kg/10a) 合計19.4kg/10a

- ②基肥重点の施肥方法(窒素成分施用量)
基肥として19.4kg/10a, 50%は緩効性肥料LP100

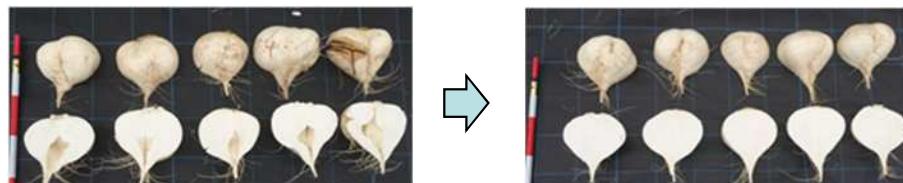


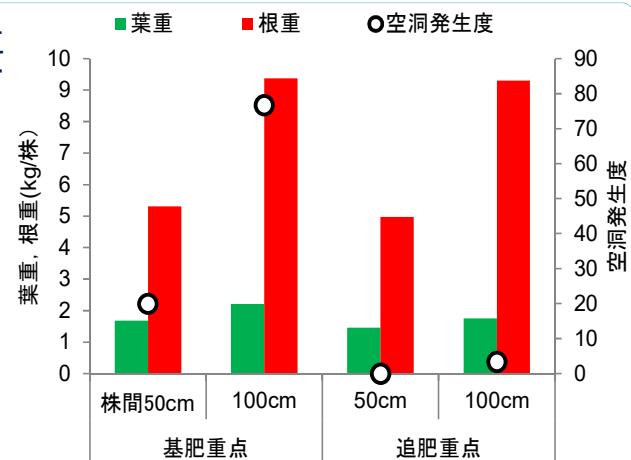
図 施肥方法・株間と葉重、根重、空洞症発生度

2 すりは適期(1月下旬まで)に一斉収穫することで回避可能

期待される効果

- ・空洞症およびすり入りの発生が少なく商品率向上へ。
 - ・栽培方法の基準化により安定生産および計画出荷に寄与。

鹿児島県農業開発総合センター園芸作物部野菜研究室



商品率向上

空洞症およびす入りの低減により商品率向上
現行: 50%~70% → 90%

栽培方法の基準化

栽培マニュアルにより栽培技術を統一し安定生産 計画出荷へ

桜島大根F ₁ 品種「鹿児島5号」栽培マニュアル									
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
○△～△～△							□□□□		
5時起床 滅虫：朝5時 晩5時							夜寝		
施肥	①	②	③	④					
追肥	追肥1回	追肥2回			病害				
撒播	シラクワムシ	軟腐病	アブラムシ		殺虫				

- 1 権種特性(鹿児島5号)

 - ・無い無い手品
 - ・空茎症、入りが発生しにくい

2 施肥
基肥割定率は無い!
基肥量: 1t/10a [施肥時期早めに
基肥: 1t/10a] (1kg/10a (農地側))
老石灰: 100kg/10a

追肥: 1t/10a

1回目播種15日前	千代田化成550: 20kg ($20kg \times 1.2 = 24kg$)
2回目播種30日前	千代田化成550: 20kg ($20kg \times 1.2 = 24kg$)
3回目播種50日前	千代田化成550: 20kg ($20kg \times 1.2 = 24kg$)
4回目播種30日前	千代田化成200: 10kg ($10kg \times 1.2 = 12kg$)
5回目播種30日前	千代田化成200: 10kg

施肥合計 (kg/10a)
ザツリ: リン: カリ = 18.7: 21.8: 19.3

3 栽種様式

 - ・耕幅: 100cm 枝間: 70cm ~ 80cm
 - ・栽種株数: (111株 ~ 142株/a)

4 撒種

 - ・播種時期: 8月上旬~9月中旬
 - ・播種量: 1.5kg/10a
 - ・播種量: 10kg/10a
 - ・播種量: 5kg

5 撒播

 - ・深さ: 1~2cm程度で播種し、軽く
 - ・撒播: 撒播の土の粒
 - ・播種量: 1.5kg/10a

6 開口

■基本は、生育のよい特徴を發揮する
播種10日後を目録に1本立!

 - ・病害虫:
 - ・播種後はレシクミムシ、ヨウカ風呂風呂の黒星要注意!!
 - ・アブランシ、キヌジノコ
 - ・初期落葉: 8月上旬~中旬
 - ・開口: 8月上旬~中旬
 - ・播種: 1ヶ月前頃に子葉が現れる
モードル (クレブン)

7 収穫

 - ・適期収穫にこだわる
 - ・9月上旬から刈り始める
 - ・1.2ヶ月刈り (1ヶ月刈)
 - ・詰まつが良く品質である
 - ・刈り落とすあとやかん中に肥料を撒く

■母株維持: 畜糞水、自家堆肥等
は耕さずして残す。全く施肥しない。
しかし、なぜかされません

桜島大根 鹿児島5号の栽培ポイント

初年度は地頭上生育を抑え、根を伸ばすことがポイント!
基肥を多く追肥量で立てる。
基肥を多く立てる所は廻り1.5倍

施肥量と施肥

施肥量を増やす

施肥量を減らす

施肥量を適度に

施肥量を増やす

施肥量を減らす

施肥量を適度に

地上部は芽吹いて、葉の草芽が
伸びています。

地下部は
根が大きくなっています。

導入をオススメする対象

桜島地域を中心とした県内の桜島大根栽培農家